

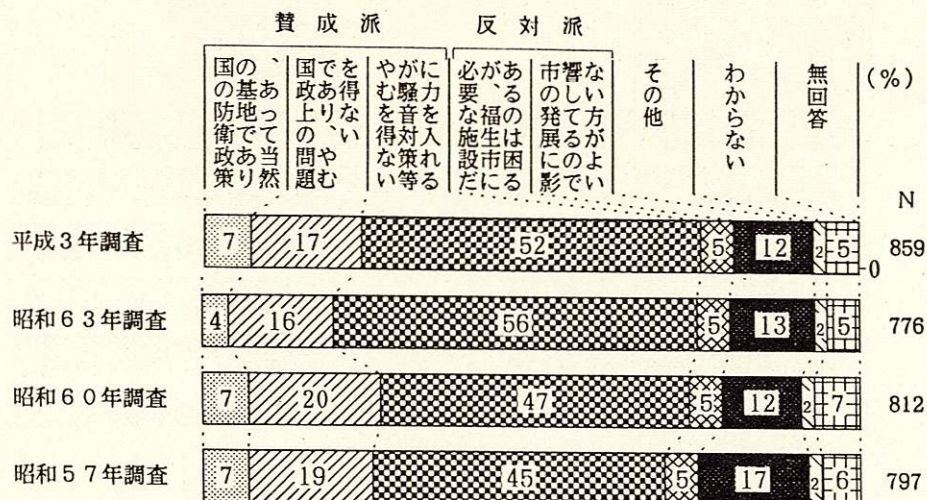
4. 横田基地

4-1. 横田基地の賛否

◎あってよいという人が76%、ない方がよいという人が19%。

問6 次に、横田基地について、伺います。この中で、日ごろあなたが考えていることに、最も近いものを1つだけあげてください。

図4-1



横田基地について、「国の防衛政策の基地であり、あって当然」とする人は7%、「国政上の問題であり、やむを得ない」という人は17%、「やむを得ないが騒音対策等に力を入れるべきだ」という人は52%、「必要な施設だが、福生市にあるのは困る」という人は5%、「市の発展に影響しているのではない方がよい」という人は12%である。基地に積極的に賛成する人は7%、消極的に賛成という人が69%、合わせて76%の人が基地に対して賛成の意見を表明していることになる。基地に対して積極的・消極的に反対の人は合わせて17%である。過去の調査と比較すると、「やむを得ないが騒音対策等に力を入れるべきだ」という意見が、昭和63年と比べやや減っている。一方、基地に対して反対の意見は、ここ数回ほぼ一定している（図4-1）。

基地に賛成の人は、50～60歳代以上の男性と20歳代の女性で8割を超えてとくに多く、また60歳代以上の男性では15%の人が「国の防衛政策の基地であり、あって当然」という意見を表明している。基地に反対の人は、40歳代の女性（26%）、40歳代の男性（25%）、30歳

代の男性（23％）で目立っており、いま挙げた年齢層はいずれも積極的な反対が平均より多いが、とくに30歳代の男性では22％に達している（図4-2）。

職業別では、事務・技術系勤めの人（23％）で反対が目立っている（図4-3）。

図4-2 性別・性年齢別 横田基地の賛否

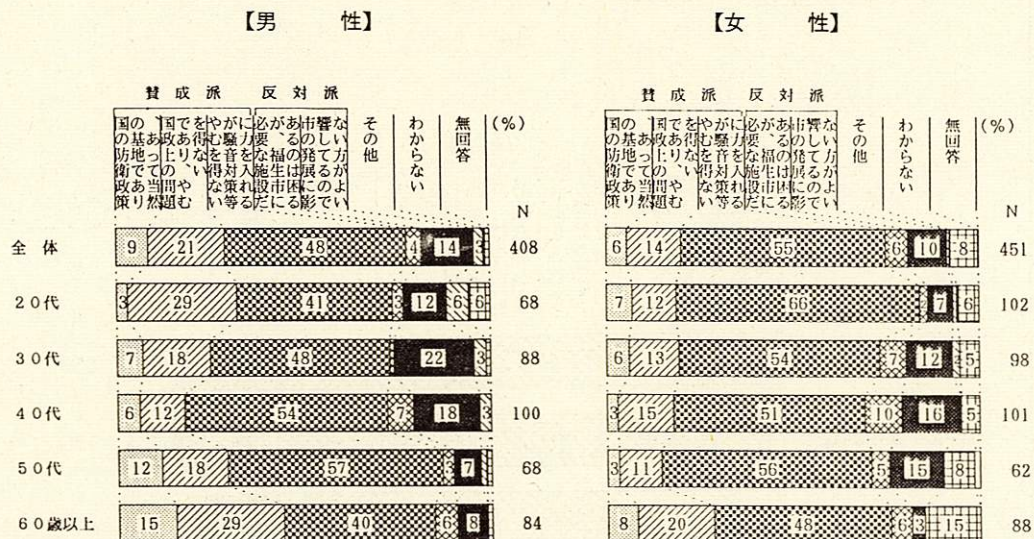
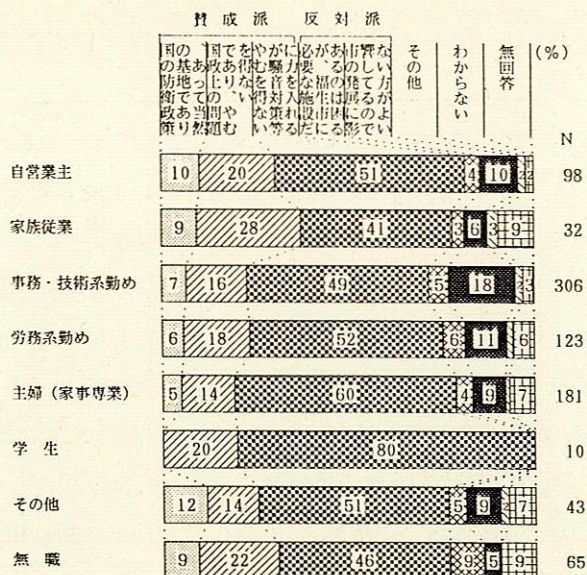


図4-3 職業別 横田基地の賛否

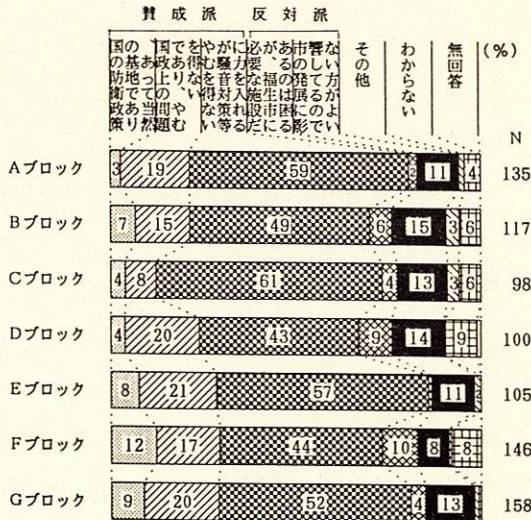
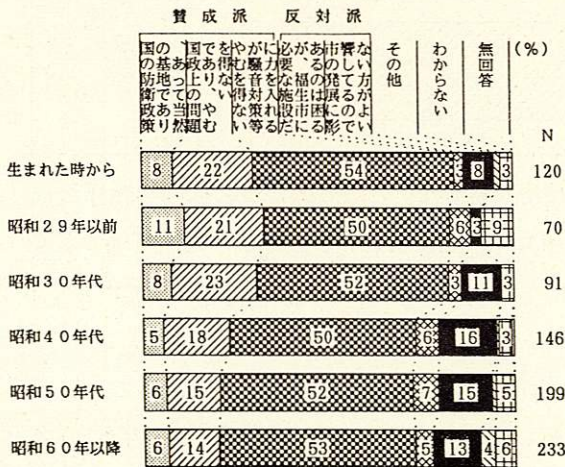


居住年数別では、居住年数が短いほど基地に賛成の割合が減る傾向にある。また、居住年数が短くなると反対は増えているが、昭和60年以降に住み始めた人では18%と昭和40年代、50年代から住み始めた人よりも少なくなっている（図4-4）。

地区別では、Eブロックの賛成86%が一番高く、Dブロックの賛成67%が一番低い割合となっている。反対が20%を超えているブロックは、Dブロック（23%）とBブロック（21%）である（図4-5）。

図4-4 居住年数別 横田基地の賛否

図4-5 地区別 横田基地の賛否

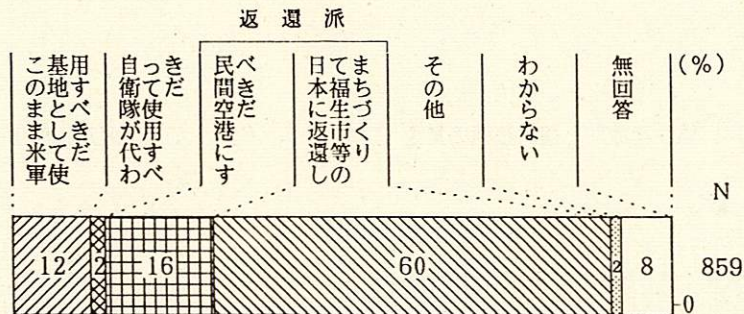


4-2. 将来の横田基地の在り方

◎日本に返還が76%。

問7 将来、横田基地はどうあるべきだと思いますか。この中から1つだけあげてください。

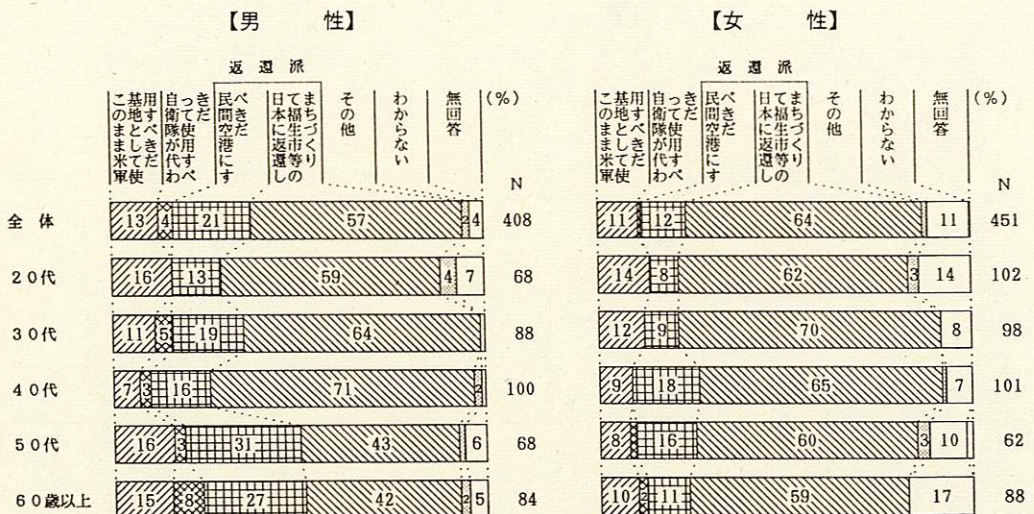
図4-6



将来、横田基地は「このまま米軍基地として使用するべきだ」という人が12%、「自衛隊が代わって使用するべきだ」という人は2%、「民間空港にすべきだ」という人は16%、「日本に返還して福生市等のまちづくりに役立つべきだ」という人は60%である。「民間空港にすべきだ」という人も加えて76%の人が返還を希望している（図4-6）。

「民間空港」を含む返還派は、40歳代の男性（87%）にもっとも多い。もっとも少ないのは60歳以上の男性（69%）である。「日本に返還し……」という意見は40歳代の男性と30歳代の女性で70%を超えている。また、「民間空港にすべきだ」という意見は50～60歳以上の男性でとくに目立っている（図4-7）。

図4-7 性別・性年齢別 将来の横田基地の在り方



居住年数別では、居住年数の短い人で返還派が多くなっている。「民間空港にすべきだ」という人は居住年数が長い人の方に多い。また、生れてからずっと福生市に住んでいる人では、「このまま米軍基地」を望む割合（17%）が高くなっている（図4-8）。

地区別では、B、C、Eの各ブロックで「民間空港」を含む返還派が80%を超えている。また、Gブロックでは「このまま米軍基地として使用すべきだ」という人（17%）が目立っている（図4-9）。

図4-8 居住年数別 将来の横田基地の在り方

図4-9 地区別 将来の横田基地の在り方

